

あし風通信

ICC 1 号

学びのスタンプ通算 8 号



応援します、生涯学習 - ふえる知識と仲間の輪

「いしかり市民カレッジ」が開校しました！

4 月 23 日（木）「いしかり市民カレッジ」の開校式（市民図書館エントランスホール）と開校記念講座（視聴覚室）が行われました。

開校式

開校式は、カレッジ生 69 人と連携団体代表 4 人が出席して行われました。来賓として石狩市議会建設文教常任委員、石狩市教育委員、石狩市社会教育委員のみなさん 12 人をお迎えしました。

まず初代学長に就任された田岡市長からご挨拶があり、その後に徳田カレッジ運営委員長が挨拶しました。田岡学長は「市民カレッジの初代学長と紹介されたことは大変嬉しい、『いしかり市民カレッジ』は市民自らの盛り上がりでできた他に例のない市民大学であり、これからますます発展して市民のみなさんが心も体も元気で学ぶ場となって欲しい」と話し、「学ぶ気持ちは生きる気持ち」という言葉で結びました。また、カレッジ生を代表して鈴木茂さんが、自分の貰ったカレッジ手帳は 100 番という大変区切りの良い番号だったので、これからこの手帳を生かして元気に学んでいきたいと挨拶されて、開校式は終了しました。

今、船出した「いしかり市民カレッジ」は皆様と一緒に発展していきたいと願っています。ご支援よろしくお願いたします。



開校記念講座

【田中實さんが語る「いしかり・人物語～歴史を彩った人びと」第 1 回/子母澤寛と厚田の仲間たち】

開校式に続いて行われた開校記念講座は、講師が田中實さんということもあり人気が高く、一般の方は抽選（カレッジ生は優先）となりました。

開校式に出席して講座を受けられない方には、エントランスホールのスクリーンに講座の様子を映して間接的に聞いて頂くことになりました。

講座は、ご自身で調べられた詳しい資料を使って行われました。子母澤寛を知るための参考本の紹介から始まり、その複雑な家系のこと、三岸好太郎の母でもあるイシのこと、三岸好太郎や戸田城聖、吉葉山とのつながりなど、多岐にわたる内容を一つひとつ確実に、しかも時間内ぴったりと終わるように話しをされて、大変素晴らしいものでした。



市民カレッジデータ

（5 月 25 日現在）

登録者～ 1 2 7 人

協力団体～ 4 5 団体



ロゴ制作者・丸山英里子さん

有難うございました、これからもよろしく

開校式が無事終了し、田中實氏による開校記念講座も大盛況にうちに開催されて、「いしかり市民カレッジ」は確かな一歩を踏み出すことができました。現在の市民カレッジ登録者は127人、連携団体数は45団体に達しており、市民、市民団体及び石狩市のご協力に対し心から感謝申し上げます

同時に市民の皆さんの期待の大きさを感じている次第です。皆さんからは忌憚のないご意見をいただき、ご期待に添えるようカレッジの内容をより充実させていきたいと考えております。これからもよろしく願い申し上げます。

(いしかり市民カレッジ運営委員長 徳田昌生)

市民のニーズに応え、講座を企画します！！

平成19年12月、当時の“市生涯学習企画ボランティアの会”が行った石狩市民対象のアンケートによると、市民が開講を希望する講座として、第1は「郷土の歴史や地理、伝統文化などを学ぶもの」、第2は「動物や植物、地形や気候など地域の自然を学ぶもの」、そして第3は「農業や漁業、新港の工場見学など産業体験」という結果でした。市民カレッジでは講座を企画するにあたって、このような市民のニーズを大切に考えています。

今年度は前後期あわせて12講座を開講しますが、このうち8本は石狩に関するテーマであり、

これは市民のご要望を生かした結果です。一方で地域にこだわらず、今日の社会が抱える諸課題を、幅広く多少専門的に学ぶ講座のニーズもあります。これらの要望に応えるのがプロフェッサー講座です。今年度は環境問題を専門とする大学の先生方が「身近な環境を考える」をテーマに4回シリーズで環境問題を分かり易く解説します。

「いしかり市民カレッジ」は、自ら企画したり教えたりできる新しい学びのかたちも目指しています。講座のご要望はもとより、カレッジの運営にも皆様のご意見をお寄せいただき、多くの市民の手で育ててくださることを願っています。

カレッジの運営はまだまだ人が足りません！

いしかり市民カレッジは、講座を実施する企画・事業グループと、あい風通信を発行する総務・広報グループのふたつで運営しています。しかし、どちらのグループもまだまだ人が足りませ

ん。講座を受けるだけでは物足りない、ひろくみなさんに情報を伝えたい、そんな意欲のある方はいつでも歓迎です。一緒に、学びのお手伝いしませんか？

ふれあいタウンミーティングに参加します

いま市役所が何を行おうとしているのかななどを説明する「ふれあいタウンミーティング」で、市民活動の事例報告として、市民カレッジ運営委員が、カレッジの仕組みなどをわかりやすくお話しします。ぜひお越しください。

6月11日(木)18:30~20:30 花川北コミセン

6月9日(火)厚田会場 / 6月12日(金)浜益会場

プログラム それぞれのウォーキング

「いしかり市民カレッジ」開校しました！

協働事業提案制度について

厚田をもっと元気に(厚田会場のみ)

介護予防ってなーに(浜益会場のみ)

いしかり市民カレッジ連携講座です。



楽しみながら学びの証を

3月に行われた学びのスタンプの3回目の修了証授与式では5人の方がシルバー、11人の方がブロンズ終了証を授与されました。市民カレッジになってもこれまでのスタンプは引き継がれます。スタンプ30個でブロンズ、60でシルバー、90でゴールドはこれまでと同じですが、さらに150でスーパーゴールド、200でダイヤモンド修了証が授与されます。ぜひ、楽しみながら学びの証をためてください。

いしかり市民カレッジ主催講座のお知らせ

これからの講座の内容です。詳しい期日等は市広報でお知らせします。お楽しみに！

講座 2 「村山耀一さんと歩く・石狩歴史散歩～石碑が語る先人の足跡」

【4回シリーズ編成 6/27(土) 7/25(土) ～ は未定】

私たちのまち石狩は、慶長年間に松前藩が「石狩場所」を置いてから約400年、明治4年に「石狩町」と呼称してからも130年の歴史あるまちです。講座では、おもに明治時代以降に郷土の先人たちが生きた証として後世に伝えるべく建立した碑を4回にわたり見学し、その開拓と発展の歴史を学びます。

講座 4 「食と人との出会い～初夏の厚田・浜益あいロード」

【6/24(水)】

厚田から浜益までの国道231号は、通称「あいロード」と呼ばれます。講座では、あいロード沿線に広がる、自然を生かした農業や漁業などの生産の現場を訪ね、食（自然の恵み）と人（生産者）との出会いに触れる一日です。おもな見学コースは、厚田漁港、黒毛和牛飼育農家、養蜂場、メロン・稲作農家などです。

もとひろ

講座 6 「坂田資宏さんが語る・小説『石狩川』に登場する土族の女性たち

【3回シリーズ編成 7月～9月 詳細未定】

いつの時代も女性の活躍を抜きにして歴史は語れません。本庄陸男の歴史小説『石狩川』のなかにも多くの女性が登場します。講座では、岩出山の移民団のなかから二人の女性「森おつる」と「小野ゆう」にスポットをあて、その姿を浮き彫りにするとともに、小説の舞台をバスで見学します。



いしかり市民カレッジ協力団体のみなさんをご紹介します。

(平成21年5月25日現在)

1	日本赤十字社北海道支部石狩地区	16	石狩市花と緑の協議会	31	石狩テニス協会
2	石狩消費者協会	17	石狩市リサイクルプラザ	32	石狩植物愛好会
3	いしかり森林ボランティア「クマゲラ」	18	石狩市民図書館	33	石狩市スポーツ健康課
4	石狩浜夢の木プロジェクト	19	石狩市郷土研究会	34	NPO法人ひとまちつなぎ石狩
5	楽々レクリエーション杏の会	20	石狩市公務サービス(株)	35	石狩市民図書館有志の会
6	いしかりまちづくり協議会	21	(財)石狩市体育協会	36	札幌第三友の会
7	伝承あそびボランティアおてだま	22	石狩パークゴルフ協会	37	マイル本間フラサークル
8	石狩市フラワーマスター連絡協議会	23	石狩パウンドテニス協会	38	地域食堂きずな
9	石狩市公民館	24	石狩市民講座「萌木」	39	花川北ウルルススキークラブ
10	石狩市環境課	25	石狩スポンジテニス協会	40	石狩市協働推進市民の声を聴く課
11	NPO法人こどもコミュニケーションいしかり	26	石狩市地域包括支援センター	41	石狩市秘書広報課
12	石狩市障がい支援課	27	石狩市ホットライン21	42	ねんりんピック石狩市実行委
13	石狩浜海浜植物保護センター	28	Santafe	43	石狩市保健推進課
14	石狩消防署	29	いしかりファミリーサポートセンター	44	いしかり地産地消を楽しむ会
15	いしかり砂丘の風資料館	30	花川リズムダンスサークル	45	食生活改善推進協議会

「学びのスタンプ協力団体」に登録していただいてこの表に掲載されていない方は、講座開催のときにあらためて「市民カレッジ協力団体」の登録を依頼させていただきます。

いんたびゅう



リサイクル手芸講習会 ~貝殻や木の実などを利用してストラップを作ります~

今回、6月の連携講座を行って頂く「楽々レクリエーション杏の会」代表の安田ヨシさんを訪問し、講座の内容や杏の会の活動内容などをうかがってきました。

リサイクル手芸とは、日ごろわたしたちのまわりで、なにげなく捨てられてしまいがちなペットボトルのキャップ、貝殻、どんぐりなどを活用して、きれいなストラップを作ろうというものです。写真にあるように、キャップやシジミ貝をきれいな布でくるみ、紐をつけてできあがりです。材料は、講師の安田さんが用意されますので、みなさん挑戦してみてください。

「楽々レクリエーション杏の会」は、毎月第1~第4の金曜日に紅南会館で、「いきいきストレッチ体操」や「健康ダンス」でカラダも頭もリフレッシュしましょうと活動しており、老若男女を問わず参加者を募集しています。杏の会の申込先は、講習会案内と同じ安田さんです。



左はペットボトルのキャップを使ったストラップ、右はシジミ貝を使ったストラップ

リサイクル手芸講習会案内

日 時：6/17(水) 13:30~15:30

場 所：石狩市公民館

定 員：10人(先着順)

申込・問合せ：楽々レクリエーション杏の会 安田さん
74-6196 FAX 74-6198

カレッジ生の声

梅は咲いたが、桜はまだかいな

花川北 粕谷保雄 さん

庭の片隅にある梅の木は毎年ピンクの花を咲かせ、もう一方の片隅にはシダレ桜が細々と鎮座しこれも小さな花を咲かせる。ともに昔、赴任先の仙台から苗木を取り寄せたものだ。この時期私はいつも「梅は咲いたが桜はまだかいな」と広くもない庭を行ったりきたりしている。手入れもしていないのに、毎年、毎年、存在を示すかのように小さな花を咲かせるのには感動する。リタイア生活6年、艶やかな花は咲かせられないが、私も我が家の庭の木のように、日々よく学びよく遊んで、小さな花を咲かせて存在を示せるよう生きたいものである。

掲示板

あい風通信は、「いしかり市民カレッジ」と「学びのスタンプ」の情報紙です。ふたつの意味をこめて、ICC1号(通算8号)とさせて頂きました。ICCは「いしかり市民カレッジ」の英字表記である「Ishikari Citizen's College」の頭文字をとってカレッジの略称としています。現在企画しているカレッジの主催講座は従来にはないものだと自負しており、実際に受講希望者も大変多くなっております。受講希望者が多い場合は、カレッジ生優先とさせて頂いています。「学びのスタンプ」会員の皆さまも、いしかり市民カレッジにご入学いただき、ぜひ新しい組み立ての講座を楽しんで頂きたいと願っております。

編集後記

講座を企画し提供するカレッジと講座を学ぶカレッジ生。双方の意向を把握して、仲を取り持ちたい「あい風通信」編集スタッフ。「スタンプ広場」は「ひろば」と名称が変わり、囲み記事が一新しました。ぜひ感想やご意見をお寄せください。「石狩の一冊」は前回号で終わりましたが、石狩と関わりを持つ素敵な小説は、まだまだあるとの事です。皆様は何冊ご存知でしょうか。執筆して下さった市民図書館副館長さん、有難うございました。

発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：石井滋朗、永山隆繁、中川進、今中建男

お問合せ

石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42

TEL: 0133-74-2249 FAX: 0133-74-2249

E-mail: kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp